Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency CASBEETLIR



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト:

CASBEE札幌2014(ver.1.3)

	_ ··				
1 建物概要					
建物名称	(仮称)北16条東19丁目ビル	BEE	1.0	BEEランク	B⁺
建物用途	事務所,	総合評価 ★★★☆☆			٠
延床面積	2,103.33 m ²	心心口	計1111	XXX	

2 重点項目への取り組み レーダーチャート 最重点項目 省エネル 地 ギー性能 5.0 ___ 球 4,0 温 暖 3.0 化 1.0 省資源等 対 雪処理 0.0 への取組 策 緑化への 化 緑 取組 この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています

Q1 光・視環境 スコア 1.0 LR1 自然エネルギー利用 スコア 1.0 LR1 設備システムの高効率化 スコア 10.0 LR1 効率的運用 スコア 2.0 B 省資源等 合計 14点 /23点 Q2 耐用性・信頼性 スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減 スコア 5.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 イ1.0 スコア 1.0 D 雪処理 合計 1点 /3点	3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア									
Q1 光・視環境 スコア 1.0 LR1 自然エネルギー利用 スコア 1.0 LR1 設備システムの高効率化 スコア 10.0 LR1 効率的運用 スコア 2.0 B 省資源等 合計 14点 /23点 Q2 耐用性・信頼性 スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減 スコア 5.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 4.0 スコア 1.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 イ16点 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 D 雪処理 合計 1点 /3点	A 省エネルギー				合計 19点	/24点				
LRI 設備システムの高効率化 スコア 10.0	Q1 温熱環境	スコア	1.0 LR1	建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0				
LR1 効率的運用 スコア 2.0 B 省資源等 合計 14点 /23点 Q2 耐用性・信頼性 3コア Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 LR2 排再生性資源の使用量削減 スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 1.0 LR3 地球温暖化への配慮 スコア 4.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 4.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 CR3 地域環境への配慮 2 CR3 地域環境への配慮 2 CR3 と同じないのでは、2 CR3 地域環境への配慮 2 CR3 と同じないのでは、2 CR3 と同じないの	Q1 光·視環境	スコア	1.0 LR1	自然エネルギー利用	スコア	1.0				
B 省資源等合計 14点 /23点Q2 耐用性・信頼性スコア1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減スコア5.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避スコア1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避スコア4.0 LR3 地球温暖化への配慮スコア4.0 LR3 地球環境への配慮LR3 地球環境への配慮スコア2.0 LR3 地域環境への配慮スコア2.0 LR3 地域環境への配慮スコア1.0 LR3 地域環境への配慮Q3 生物環境の保全と創出 Q3 まちなみ・景観への配慮スコア4.0 LR3 地域環境への配慮スコア1.0 LR3 地域環境への配慮Q3 地域性・アメニティへの配慮スコア1.0 LR3 地域環境への配慮スコア1.0 LR3 地域環境への配慮D 雪処理合計 1点 /3点			LR1	設備システムの高効率化	スコア	10.0				
Q2 耐用性・信頼性 スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減 スコア 5.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 4.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 4.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 LR3			LR1	効率的運用	スコア	2.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避 スコア 1.0 LR3 地球温暖化への配慮 スコア 4.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア 4.0 4.0 スコア 1.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 合計 1点 /3点	B 省資源等				合計 14点	/23点				
LR3 地球温暖化への配慮 スコア 4.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 C 緑化 合計 8点 /16点 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア 4.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 D 雪処理 合計 1点 /3点	Q2 耐用性·信頼性	スコア	1.0 LR2	非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0				
LR3 地域環境への配慮 スコア 2.0 C 緑化 合計 8点 /16点 Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 6.0 4.0	Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0 LR2	汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0				
C 緑化 合計 8点 /16点 Q3 生物環境の保全と創出 スコア Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア D 雪処理 1.0 上R3 地域環境への配慮 スコア 1.0 4.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0			LR3	地球温暖化への配慮	スコア	4.0				
Q3 生物環境の保全と創出 スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0 Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア 4.0 1.0 カーマート・フォーティへの配慮 スコア 1.0 合計 1点 /3点 D 雪処理 合計 1点 /3点 1.0<			LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0				
Q3 まちなみ・景観への配慮 スコア 4.0 Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 D 雪処理 合計 1点 /3点	C 緑化		<u></u>		合計 8点	/16点				
Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 1.0 合計 1点 /3点	Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.0 LR3	地域環境への配慮	スコア	1.0				
D 雪処理 合計 1点 <u>/</u> 3点	Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.0							
	Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0							
Q3 地域性・アメニティへの配慮 スコア 0.0 LR3 地域環境への配慮 スコア 1.0	D 雪処理				合計 1点	/3点				
	Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 LR3	地域環境への配慮	スコア	1.0				

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー

注) 「A:省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

通常の断熱材のほか、外壁に断熱材を挟み込んだパネルを採用し断熱性能の付加価値を上げた設計としている。

B 省資源等

注)「B:省資源等」に対する配慮事項を簡潔に 記載してください。

極力凹凸のないよう平面を計画、整形なプラン とすることで端材の発生を抑えるよう計画 設備的には複数の熱源を採用することにより、 状況に応じた省エネ効果が得られる

C 緑化

注)「C:緑化」に対する配慮事項を簡潔に 記載してください。

衝材の役割を担うよう配置している。

D 雪処理

注)「D:雪処理」に対する配慮事項を簡潔 に記載してください。

札幌市の条例による緑化基準をクリアーする 建物以外の部分はほぼ駐車スペースとなって とともに無機質な建物に対し周辺環境との緩いるが、全面にロードヒーティングを敷設し て積雪状態が発生しないようになっている。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- C: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境局で、L.R: Load Reduction(建築物の環境角術伝派性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境角術という。 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される